

# 由利まちづくり協議会

第4期（R1. 8. 1～R3. 7. 31）

## 活動報告書

令和3年7月  
由利まちづくり協議会委員一同

### 【はじめに】

私たち、由利まちづくり協議会は令和元年8月に市より委嘱され、14名のメンバーでスタートしました。第4期では由利地域について大人では気付かない魅力や若者が感じる課題を知ることがを目的に、由利中学生とコラボレーションし、フィールドワークや意見交換会を通して、中学生の視点による魅力や意見を聞き取るなどの活動を実施してきました。その2年間の活動結果をここにご報告します。

### 【メンバー】

役職	氏名	所属（推薦）団体等
会長	熊谷 甚悦	NPO法人由利本荘木育推進協会
副会長	佐藤 正人	由利中学校学校運営協議会
委員	三浦 俊雄	西滝沢地区行政連絡協議会
委員	渡辺 政彦	東滝沢地区行政協力員
委員	須田 和夫	東滝沢地区行政協力員
委員	石垣 正喜	鮎川地区総代会
委員	正木 みえ子	J A女性部由利支部
委員	石川 ひな子	商工会女性部由利支部
委員	三浦 久美子	ゆりちゃん市場
委員	嶋田 健一郎	由利本荘市観光協会由利支部
委員	佐藤 金市	NPO法人西滝沢子ども水辺協議会
委員	三浦 清和	由利地区PTA連絡協議会
委員	畠山 孝久	学識経験者
委員	阿部 久一	学識経験者

### 【活動報告】

これまでの2年間で市からの要請及び自主開催による全体会を8回、企画運営部会を7回、中学生と共同で行った活動を4回開催しました。

開催状況は次のとおりです。

#### ○全体会の開催状況

	開催日	時間	出席委員数	備考
第1回	令和元年 8月22日	18:00~19:10	13人	市要請
第2回	令和元年10月28日	18:00~19:15	13人	
第3回	令和元年12月16日	18:00~18:30	10人	
第4回	令和2年 2月20日	18:00~18:55	10人	
第5回	令和2年 7月16日	18:00~19:05	9人	
第6回	令和2年 8月27日	18:00~18:45	11人	市要請
第7回	令和3年 4月20日	18:00~19:50	11人	
第8回	令和3年 7月 1日	18:00~19:40	12人	市要請

○中学生との共同活動

活動内容	開催日	時間	生徒数	参加委員数
ディスカッション	令和2年 2月26日	15:10~15:55	31人	10人
フィールドワークの事前 打ち合わせ	令和2年 7月21日	13:10~14:50	38人	10人
フィールドワーク	令和2年 9月 2日	8:45~15:20	38人	12人
研究授業	令和2年11月10日	11:35~12:25	36人	8人

○由利中学校生徒とのフィールドワークの趣旨

将来、由利地域を担っていく若者（人材）として、生徒たちが自分の住んでいる地域をどのように捉えているのかを知るとともに、生徒の目線を取り込みながら地域資源（人、モノ、歴史、環境等）を自ら調べることで、地域の魅力（資源）を再確認し地域に誇りを持つとともに、活動成果をまとめて今後の「まちづくり」に役立てようとする。

○フィールドワークについて

※令和2年9月2日（水）実施

テーマ	視察場所	生徒数	参加委員数
畑中喜右衛門について	畑中喜右衛門の碑	4人	1人
由利の川・魚について	水辺プラザ	4人	2人
水辺プラザについて		3人	2人
由利の自然について	南由利原・大谷地池（第一展望台）	8人	2人
由利の食べ物について	ゆりちゃん市場	4人	1人
由利の農業について	カントリーエレベーター	2人	1人
由利牛について	ふれあい農場	7人	1人
由利の歴史について	万箇將軍の墓（瑞光寺） 木のおもちゃ美術館	6人	2人





#### ○参加した委員からの感想（一部抜粋）

- ・中学生からの提案は、環境問題、由利牛、釣りの企画、観光PRと概ね4つに分類できるが、中でも子吉川周辺の環境問題について関心を持っている生徒が特に多いように感じた。大人の私たちが関心を寄せる事柄でもあるが、子どもたちはそれ以上に関心を持っていることに驚いた。
- ・子どもたちならではの発想力に感心した。アイデアを実現するには困難も多いが、一つでも実現できたら由利地域の活性化に繋がると考えた。
- ・子どもたちの意見を聞いて、大人たちがもっと由利地域の良さを見直せるような機会を作れたらと思った。
- ・フィールドワークを通して、大人だけの活動や子どもだけの活動ではなく、大人と子どもが接しながら出来る活動を子どもたちは望んでいるのだと感じた。
- ・将来由利地域を担うであろう子どもたちと共同で活動をしたことで、私たちの取り組みが子どもたちの意欲形成等に繋がり、ゆくゆくは地域おこしの活動にも繋がられていくのではと考えた。
- ・ゴミが多いことが地域を活性化させないことに繋がるという子どもならではの思考に驚いた。もう少し子どもたちに、なぜそのように思うのか聞いてみたいと思った。
- ・由利地域の活性化には地域外の人たちの来訪が大いに関わっていると考えていたが、子どもたちの意見の中にはそれ以外に、地域内での繋がりや活動などを重視する考えも多くあり意外に感じた。
- ・我々と同じように由利地域のことを思ってくれていると感じた。中学生からの意見を地域住民に発信したいと考えた。
- ・今回初めてコラボレーションしたが、大人、子ども間で情報を共有できたのでやって良かったと感じた。今後もこういった取り組みを継続していきたいと考えた。

#### ○フィールドワーク実施後の中学生からの提案

##### ◎環境に関すること

○地域内にゴミが増えてきており、地域外から来られた方に良い印象を与える事が出来るようにする。

- ・子吉川で釣り大会などを開催し、併せて河川クリーンアップを実施する。
- ・地域の人に意識を変えてもらいポイ捨てをしないようにする。
- ・ゴミ拾いを競争として行う。
- ・子ども、大人一緒になってクリーンアップを行う。

- ・花壇に季節ごとの花を植える。
- ・植えた花を上から見ると絵に見えるように「花でアートをつくろうプロジェクト」を行う。
- ・ボランティアに参加し、ゴミ拾いを行う。
- ・チラシなどでゴミのポイ捨てをしないように呼びかける。
- ・子ども、保護者、集落の方で定期的にゴミ拾いを行う。
- ・ボランティアで花を地域の方々に届ける。

## ◎観光に関すること

### ○地域外からの観光客が増えるようにする。

- ・由利を巡る由利鉄、観光バスによるツアーを行う。
- ・おいしいもの、観光スポット、映えるスポットなどをSNSで発信する。
- ・木のおもちゃ美術館の歴史コーナーで昔の体験を出来るようにする。
- ・由利原まつり、水辺プラザのイベントに若者が知っている有名人を呼ぶ。
- ・若者を呼び込むため、流行のものを取り入れ「～専門店」を作る。
- ・スタンプラリーを行い、そろったら商品券、景品を配布する。
- ・PR動画を作成し、テレビCM、YouTubeで配信する。
- ・県外から来た人の費用の一部を補助する。
- ・見るだけでなく、体験することが出来るようにする。
- ・地域の人にも南由利原のいいところを見てもらおう機会をつくる。
- ・若い人はおしゃれなどに敏感なので有名な物をつくる。
- ・何がはやっているのか、若い人の意見を聞いてほしい。

## ◎産業に関すること

### ○由利牛の認知度をもっと上げる、販売拡大につなげる。

- ・SNSで由利牛について発信する。
- ・食べる機会を増やすため、由利牛フェスティバルを行う。
- ・自動販売機で販売する。
- ・由利牛を使った商品を開発し、アンテナショップ、全国の店舗で販売する。
- ・頭数が少ないので、多くの由利牛を生産できるようにする。
- ・人材不足解消のため、生産者の仕事を手伝う。

## ◎その他

### ○地域を活性化させるため、人と人がふれあえる機会を増やす。

- ・人と人がふれあえる時間をつくる。
- ・子供と大人が関わりを持てるイベントを行う。
- ・若い世代が住みたいと思う環境を整備する。
- ・不安や悩みを持つ人が24時間いつでも落ち着ける場所をつくる。
- ・地域で行われる行事に参加する。
- ・フリーマーケットなど行う。
- ・若い人が住みたいと思う環境をつくる。

## 【おわりに】

令和元年8月に開催した第4期第1回由利まちづくり協議会の初会議において、第4期の自主事業をどのような内容でどのように進めていくかの話し合いをした結果、第4期としては、将来の由利本荘市や由利地域を担っていくと思われる「若い世代」が地元である由利地域に対し、現在どのような印象を持ち、将来どのような姿を期待しているのかを知ることが由利地域の未来と活性化にとって重要では、との認識を共有しました。

この認識のもとに、第4期の自主事業は地元の中학생との連携事業とし、中学生的視点で見た由利地域の魅力や地域資源を再確認・再発見する中で、その魅力や地域資源をどのように活かして地域活性化に結びつけるのか、中学生的考えを知る活動を実施することにしました。

幸いにも由利中学校からは、事業実施に対する特段のご理解をいただくことができ、新型コロナウイルス感染拡大による影響等もあり途中で連携対象学年が変わるというアクシデントもありましたが、学校側の多大なるご協力のもとで連携事業の実施が可能となり、由利まちづくり協議会としては大きな成果を得ることが出来たと考えております。

最後に、連携事業でのフィールドワーク実施の際は、視察先の各施設や指導者等の関係各位と市役所由利総合支所職員のご支援をいただき改めて感謝申し上げますとともに、我々まちづくりに携わる市民（大人）としては、今回の中学生的からの提案や意見等を踏まえながら地域の魅力アップや活性化に取り組みつつ、今後も、若年層が地域の現状に関心を持ち地域の将来を考える機会の提供に、継続的に努力する必要があると思いました。

